

第 3 付属資料

秘

総務省届出済

東京都指定統計調査第4号

この調査票に記入された事項は、統計以外の目的に使用したり、他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、ありのままを記入してください。



東京都

回収予定日 月 日

平成19年度
東京都福祉保健基礎調査調査票
-子育て世帯の状況-
(平成19年10月27日現在)

回答状況	1 回答	調査不能		
		2	3	4

調査地区	区市町村
------	------

調査番号		家族の状況	
地区番号	世帯番号		

調査員氏名

養育者の状況

	養育者（男性）	養育者（女性）
問1 子どもとの関係	1 父親 2 その他	1 母親 2 その他
問2 年齢 平成19年10月27日 現在	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳
問3 国籍	1 日本 2 その他（ ）	1 日本 2 その他（ ）

子どもの状況

それぞれのお子さんについてお答えください。お子さんごとに縦方向に回答していくことになります。

番号	1 (第一子)	2 (第二子)	3 (第三子)	4 (第四子)	5 (第五子)
問4 性別	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
問5 同別居の状況	1 同居 2 別居	1 同居 2 別居	1 同居 2 別居	1 同居 2 別居	1 同居 2 別居
問6 年齢 平成 19 年 10 月 27 日現在	歳 <input type="text"/>	歳 <input type="text"/>	歳 <input type="text"/>	歳 <input type="text"/>	歳 <input type="text"/>
問7 就学状況等	1 就学前(家庭) 2 就学前 (保育所、幼稚園等) 3 小学校 4 在学中 (小学校以外) 5 その他 ↑ 学年 <input type="text"/> 年	1 就学前(家庭) 2 就学前 (保育所、幼稚園等) 3 小学校 4 在学中 (小学校以外) 5 その他 ↑ 学年 <input type="text"/> 年	1 就学前(家庭) 2 就学前 (保育所、幼稚園等) 3 小学校 4 在学中 (小学校以外) 5 その他 ↑ 学年 <input type="text"/> 年	1 就学前(家庭) 2 就学前 (保育所、幼稚園等) 3 小学校 4 在学中 (小学校以外) 5 その他 ↑ 学年 <input type="text"/> 年	1 就学前(家庭) 2 就学前 (保育所、幼稚園等) 3 小学校 4 在学中 (小学校以外) 5 その他 ↑ 学年 <input type="text"/> 年

住居の状況

問8 住居の種類	1 持家（一戸建て） 2 持家（分譲マンション等） 3 都・区市町村の公営賃貸住宅 4 都市機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅（ 1 ） 5 民間賃貸住宅（一戸建て） 6 民間賃貸住宅（共同住宅） 7 間借り 8 社宅などの給与住宅（ 2 ） 9 その他（ ）	・ 親名義又は子名義の家に住んでいる場合も、「持家」とします。 1 都市再生機構、（旧）都市基盤整備公団、住宅供給公社、（旧）開発公社などの賃貸住宅をいいます。 2 勤め先の会社・官公庁や雇い主などが所有又は管理している住宅（独身寮を含む。）をいいます。
問9 子ども部屋の 有無	1 個室あり 2 他の兄弟姉妹と共用 3 一部の子どもに個室あり 4 なし	
問10 居住開始時期	1 平成8年以前 2 平成9～13年 3 平成14～18年 4 平成19年	・ 現在の住居に住み始めた時期を回答してください。入居した住宅が建て替えられた場合には、建て替え以前の入居時期をお答えください。

養育者の就労の状況

それぞれの養育者（男性、女性）についてお答えください。養育者ごとに縦方向に回答していくことになります。

	養育者（男性）	養育者（女性）	
問 11 就労の状況	<p>働いている</p> <p>1 主に仕事 2 家事などのほかに仕事 3 通学のかたわらに仕事 働いていない</p> <p>4 育児休業中である 5 病気等で休んでいる 6 仕事を探している 7 家事・育児 8 通学 9 その他（ ）</p>	<p>働いている</p> <p>1 主に仕事 2 家事などのほかに仕事 3 通学のかたわらに仕事 働いていない</p> <p>4 産休・育児休業中である 5 病気等で休んでいる 6 仕事を探している 7 家事・育児 8 通学 9 その他（ ）</p>	<p>・ 調査基準日（平成 19 年 10 月 27 日）現在の就労の状況について答えてください。</p>
問 11-1 従業上の地位	<p>《問 11 で 1～5 と回答した方がお答えください。》 《6～9 と回答した方は問 12 へお進みください。》</p> <p>1 自営業 2 正規の職員・従業員 3 会社・団体等の役員 4 パート・アルバイト 5 労働者派遣事業所の派遣社員 6 契約職員・嘱託 7 その他</p>	<p>1 自営業 2 正規の職員・従業員 3 会社・団体等の役員 4 パート・アルバイト 5 労働者派遣事業所の派遣社員 6 契約職員・嘱託 7 その他</p>	
問 11-2 仕事の種類	<p>1 専門的・技術的な仕事 2 管理的な仕事 3 事務の仕事 4 販売の仕事 5 サービスの仕事 6 保安の仕事 7 農林漁業の仕事 8 運輸・通信の仕事 9 生産工程・労務作業の仕事 10 その他の仕事</p>	<p>1 専門的・技術的な仕事 2 管理的な仕事 3 事務の仕事 4 販売の仕事 5 サービスの仕事 6 保安の仕事 7 農林漁業の仕事 8 運輸・通信の仕事 9 生産工程・労務作業の仕事 10 その他の仕事</p>	

共通

就学前

小学生

ひとり親

	養育者（男性）	養育者（女性）	
問 11-3 通勤時間	《以後、問 11 で 1～3(働いている)と回答した方がお答えください。》 (4、5と回答した方は問 12 へお進みください。)		問 11-3～7 は通常の場合についてお答えください。
	1 15分以内 2 16分～30分 3 31分～60分 4 61分～90分	5 91分～120分 6 121分以上 7 自宅就労	
問 11-4 1日あたりの実労働時間	1 6時間未満 2 6～7時間未満 3 7～8時間未満	4 8～9時間未満 5 9～10時間未満 6 10時間以上	休憩時間を除いた時間をお答えください。
問 11-5 1か月の残業時間	1 なし 2 5時間未満 3 5～10時間未満 4 10～20時間未満	5 20～50時間未満 6 50～100時間未満 7 100時間以上	
問 11-6 帰宅時間	1 午後5時以前 2 午後5時～午後5時59分 3 午後6時～午後6時59分 4 午後7時～午後7時59分 5 午後8時～午後8時59分 6 午後9時～午後9時59分 7 午後10時以降 8 その他()	1 午後5時以前 2 午後5時～午後5時59分 3 午後6時～午後6時59分 4 午後7時～午後7時59分 5 午後8時～午後8時59分 6 午後9時～午後9時59分 7 午後10時以降 8 その他()	
問 11-7 1週間の就労日数	1 3日未満 2 3日 3 4日	4 5日 5 6日 6 7日	

世帯の状況

問12 世帯人員	<input type="text"/> 人	
問13 家族類型	1 親と子 2 祖父母と親と子(1) 3 祖父母と子(2) 4 その他()	1 「祖父と親と子」「祖母と親と子」を含みます。 2 「祖父と子」「祖母と子」を含みます。
問14 世帯の年間収入	1 収入なし 2 100万円未満 3 100～200万円未満 4 200～300万円未満 5 300～400万円未満 6 400～500万円未満 7 500～600万円未満 8 600～800万円未満 9 800～1,000万円未満 10 1,000～1,200万円未満 11 1,200～1,500万円未満 12 1,500万円以上	世帯で収入があった人全員の平成18年分の収入額の総額を選んでください。 ・「賃金・給料」の収入については、勤め先から支払を受けた給料、賃金、賞与の合計額としてください。この中には税金や社会保険料を含めます。 ・事業所得は、売上高から必要経費を差し引いた営業利益としてください。
問15 世帯収入の種類	1 賃金・給料 2 事業所得 3 内職収入 4 家賃・地代 5 利子・配当 6 仕送り(1) 主なもの1つ <input type="text"/>	・当てはまるすべての番号に○をつけ、そのうち主なもの1つを欄に記入してください。 1 仕送りには、単身赴任者を送り出している世帯などで、単身赴任をしている方の給与振込口座から生活費等として毎月決まって引き出す場合も含みます。また、現金だけでなく、品物による場合も含みます。 2 医療保険からの傷病手当金・出産手当金・休業手当金など、労働者災害補償保険法等による各種補償費、児童手当等による各種手当を指します。 3 求職者給付、就職促進給付、教育訓練給付等を指します。

聞き取り調査はここで終了です。

就学前の子どもがいる世帯

《就学前のお子さんがいらっしゃる方にお聞きます》

就学前のお子さんが2人以上いる場合にはそれぞれのお子さんについてお答えください。お子さんごとに縦方向に回答していくこととなります。

就学前のお子さんの番号 (2ページ参照) <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/>	就学前のお子さんの番号 (2ページ参照) <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/>	就学前のお子さんの番号 (2ページ参照) <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/>	就学前のお子さんの番号 (2ページ参照) <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/>
問1 お子さんの日中の世話は主に誰がしていますか。			
1 自分あるいは配偶者がしている→(問2へ) 2 自分・配偶者以外がしている	1 自分あるいは配偶者がしている→(問2へ) 2 自分・配偶者以外がしている	1 自分あるいは配偶者がしている→(問2へ) 2 自分・配偶者以外がしている	1 自分あるいは配偶者がしている→(問2へ) 2 自分・配偶者以外がしている
《問1で2と回答した方にお聞きます》			
問1-1 日中お子さんを見てもらっているところはどこですか。主なところと補助的なところをそれぞれ1つずつお答えください。			
1 認可保育所(公立) 2 認可保育所(私立) 3 認証保育所(都が独自の基準により認証する保育所) 4 認定こども園 5 幼稚園	6 職場内保育所 7 ファミリー・サポート・センター 8 1~7以外の保育施設(ベビーホテルなど) 9 家庭福祉員(保育ママ) 10 ベビーシッター	11 その他の家族 12 同居していない親族や友人 13 その他() 14 補助的なところはない	11 その他の家族 12 同居していない親族や友人 13 その他() 14 補助的なところはない
主なところ 補助的なところ <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> ←補助なしの場合は14と記入して下さい	主なところ 補助的なところ <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> ←補助なしの場合は14と記入して下さい	主なところ 補助的なところ <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> ←補助なしの場合は14と記入して下さい	主なところ 補助的なところ <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> ←補助なしの場合は14と記入して下さい
問1-2 何時から何時まで見てもらっていますか。主なところと補助的なところそれぞれお答えください。(24時間制でお願いします。18時など)			
主 ()時()分から ()時()分まで 補助 ()時()分から ()時()分まで	主 ()時()分から ()時()分まで 補助 ()時()分から ()時()分まで	主 ()時()分から ()時()分まで 補助 ()時()分から ()時()分まで	主 ()時()分から ()時()分まで 補助 ()時()分から ()時()分まで

就学前の子ども	就学前の子ども	就学前の子ども
《問 1-1(7 ページ)で 1 から 10 と答えた方にお聞きします》		
<p>問 1-3 保育時間と勤務時間の関係はどのようになっていますか。次の中から当てはまるものを 1 つ選んでください。</p> <p>1 現行の保育時間で差し支えない</p> <p>2 現行の保育時間に合わせて、何とか仕事を調整している</p> <p>3 残業等の場合は、代わって保育してくれる人が家族の中にいる</p> <p>4 就業時間や残業のために二重保育をしている</p> <p>5 残業の途中で子どもの送迎をしてから、再び仕事をしている</p> <p>6 その他()</p>	<p>1 現行の保育時間で差し支えない</p> <p>2 現行の保育時間に合わせて、何とか仕事を調整している</p> <p>3 残業等の場合は、代わって保育してくれる人が家族の中にいる</p> <p>4 就業時間や残業のために二重保育をしている</p> <p>5 残業の途中で子どもの送迎をしてから、再び仕事をしている</p> <p>6 その他()</p>	<p>1 現行の保育時間で差し支えない</p> <p>2 現行の保育時間に合わせて、何とか仕事を調整している</p> <p>3 残業等の場合は、代わって保育してくれる人が家族の中にいる</p> <p>4 就業時間や残業のために二重保育をしている</p> <p>5 残業の途中で子どもの送迎をしてから、再び仕事をしている</p> <p>6 その他()</p>
問 1-4 お子さんの預け先に関して、困ることや不満に思うことは何ですか。主に預けているところについて、次の中から 3 つまでお答えください。		
<p>1 子どもを見てくれる時間が短い</p> <p>2 夜間や休日に利用できない</p> <p>3 子どもが病気のときに利用できない</p> <p>4 教育・保育の内容が良くない</p> <p>5 費用が高い</p> <p>6 対応が柔軟ではない、融通がきかない</p> <p>7 先生や保育者の教育の方針が養育者と異なる</p> <p>8 先生や保育者と養育者との交流が少ない</p> <p>9 給食の内容が良くない</p> <p>10 丁寧な子どもを見てくれない</p> <p>11 通うのに不便である</p> <p>12 その他()</p> <p>13 特にない</p>	<p>1 子どもを見てくれる時間が短い</p> <p>2 夜間や休日に利用できない</p> <p>3 子どもが病気のときに利用できない</p> <p>4 教育・保育の内容が良くない</p> <p>5 費用が高い</p> <p>6 対応が柔軟ではない、融通がきかない</p> <p>7 先生や保育者の教育の方針が養育者と異なる</p> <p>8 先生や保育者と養育者との交流が少ない</p> <p>9 給食の内容が良くない</p> <p>10 丁寧な子どもを見てくれない</p> <p>11 通うのに不便である</p> <p>12 その他()</p> <p>13 特にない</p>	<p>1 子どもを見てくれる時間が短い</p> <p>2 夜間や休日に利用できない</p> <p>3 子どもが病気のときに利用できない</p> <p>4 教育・保育の内容が良くない</p> <p>5 費用が高い</p> <p>6 対応が柔軟ではない、融通がきかない</p> <p>7 先生や保育者の教育の方針が養育者と異なる</p> <p>8 先生や保育者と養育者との交流が少ない</p> <p>9 給食の内容が良くない</p> <p>10 丁寧な子どもを見てくれない</p> <p>11 通うのに不便である</p> <p>12 その他()</p> <p>13 特にない</p>

就学前の子ども	就学前の子ども	就学前の子ども
《全員にお聞きします》		
問2 お子さんをご認可保育所に入所させたいと思えますか。それぞれのお子さんについて最も近いものを1つ選んでください。		
1 入所申込みをしていて現在待機中である 2 まだ申込みはしていないが、入所させたい と思っている 3 もし可能ならば入所させたい 4 既に入所している 5 入所させるつもりはない	1 入所申込みをしていて現在待機中である 2 まだ申込みはしていないが、入所させたい と思っている 3 もし可能ならば入所させたい 4 既に入所している 5 入所させるつもりはない	1 入所申込みをしていて現在待機中である 2 まだ申込みはしていないが、入所させたい と思っている 3 もし可能ならば入所させたい 4 既に入所している 5 入所させるつもりはない
《問2で5と答えられた方にお聞きします》		
問2-1 入所させるつもりがない理由は何か。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。		
1 現在子どもを見てもらっているところから満足しているから 2 子どもは自分で育てたいから 3 手続きが面倒だから 4 必要がないから 5 その他()	1 現在子どもを見てもらっているところから満足しているから 2 子どもは自分で育てたいから 3 手続きが面倒だから 4 必要がないから 5 その他()	1 現在子どもを見てもらっているところから満足しているから 2 子どもは自分で育てたいから 3 手続きが面倒だから 4 必要がないから 5 その他()
《全員にお聞きします》 ここからはお子さん別ではなく、お答えください。		
問3 お子さんの預け先を選ぶ際に重視することは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけ、その中で最も重視するものの番号を 欄に記入してください。		
1 子どもを見てくれる時間が十分である 2 夜間や休日でも利用できる 3 子どもが病気のときでも利用できる 4 教育・保育が充実している 5 高くない費用で利用できる 6 柔軟な対応をしてくれる 7 先生や保育者の教育の方針が養育者と一致している	8 先生や保育者と養育者との交流が盛んである 9 給食の内容が良い 10 丁寧に子どもを見てくれる 11 通うのに便利な場所にある 12 その他() 13 特になし) 最も重視するもの <input type="text"/>

お子さん別ではなく、お答えください。

《問1(7ページ)で1と答えた方にお聞きします》…お子さんの日中の世話を自分あるいは配偶者が行っている方が対象

問4 次のうちで、参加したことがあるものはありますか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 保健所などで実施する両親学級等（母親学級、父親学級含む）
- 2 児童館の母親クラブなど
- 3 保育所・児童館が行う子育てひろば事業など
- 4 公民館・女性センターなどが行う子育て講座など
- 5 自主的な子育てグループ（育児サークル等）の活動
- 6 その他（)
- 7 参加したことはない

問5 次のサービスのうちで、一時的に利用したことがあるものはありますか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 児童養護施設などで、短期間子どもを預かるショートステイ
- 2 児童養護施設などで、夜間や休日に預かるトワイライトステイ
- 3 一時的に利用できる保育所等の一時保育
- 4 ファミリー・サポート・センター
- 5 その他（)
- 6 利用したことがない

問6 在宅で子育てを行う家庭に対し、どのようなサービスがあればいいと思いますか。次の中から最も必要だと思われるものを1つ選んでください。

- 1 親や家族の病気などの緊急時に預かってくれる
- 2 夜間早朝や休日など、利用したいときに預かってくれる
- 3 ボランティア活動など、社会貢献活動の理由で預かってくれる
- 4 区民講座の受講など自己啓発の理由で預かってくれる
- 5 リフレッシュのため、美容院やコンサートに行ったり、スポーツをするなどの理由で預かってくれる
- 6 その他（)
- 7 特にない

《全員にお聞きします》

問 7 過去 1 年間に、通常、お子さんの世話をしている方に、次のようなことがあったときに、どのように対応しましたか。それぞれの場合について、主な対応を 3 つまでお答えください。

【親の帰宅が遅くなり、夜間子どもだけになった】

- 1 その他の家族に頼んだ
- 2 別居の親族に頼んだ
- 3 友人・知人に頼んだ
- 4 ベビーホテルを利用した
- 5 ベビーシッター等を利用した
- 6 子どもだけにおいた
- 7 児童養護施設等でのショートステイやトワイライステイを利用した
- 8 保育所等の一時保育を利用した
- 9 ファミリー・サポート・センターを利用した
- 10 ひとり親家庭ホームヘルプサービスを利用した
- 11 その他 ()
- 12 そのようなことはなかった

【泊りがけの用事で親が子どもの世話をできなかった】

- 1 その他の家族に頼んだ
- 2 別居の親族に頼んだ
- 3 友人・知人に頼んだ
- 4 ベビーホテルを利用した
- 5 ベビーシッター等を利用した
- 6 子どもだけにおいた
- 7 児童養護施設等でのショートステイやトワイライステイを利用した
- 8 保育所等の一時保育を利用した
- 9 ファミリー・サポート・センターを利用した
- 10 ひとり親家庭ホームヘルプサービスを利用した
- 11 その他 ()
- 12 そのようなことはなかった

小学生の子どもがいる世帯

《小学生のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします》

小学生のお子さんが2人以上いる場合にはそれぞれのお子さんについてお答えください。お子さんごとに縦に回答していくこととなります。

小学生のお子さんの番号(2ページ参照)	<input type="text"/>	小学生のお子さんの番号(2ページ参照)	<input type="text"/>	小学生のお子さんの番号(2ページ参照)	<input type="text"/>
問1 お子さんは、学童クラブを利用したことがありますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用したことがある 2 利用したことがない 3 学童クラブを知らない 				
問2 お子さんは、現在、学童クラブに登録していますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1 登録している 2 登録していない 3 登録待機中である 				
問2-1 先週1週間のうち、学童クラブには何日出席しましたか。	<ol style="list-style-type: none"> 1 0日 2 1日 3 2日 4 3日 	<ol style="list-style-type: none"> 5 4日 6 5日 7 6日 	<ol style="list-style-type: none"> 1 0日 2 1日 3 2日 4 3日 	<ol style="list-style-type: none"> 5 4日 6 5日 7 6日 	<ol style="list-style-type: none"> 1 登録している 2 登録していない 3 登録待機中である
問2-2 学童クラブを欠席するときはどのようなときですか。次の中から、当てはまるものをすべてお答えください。	<ol style="list-style-type: none"> 1 塾や習い事に通うとき 2 学童クラブ以外の友達と遊ぶとき 3 親、祖父母が家にいるとき 4 兄弟姉妹が家にいるとき 5 子どもが行きたがらないとき 6 その他() 				

ここからは、お子さん別ではなく、お答えください。

(全員にお聞きします)

問3 学童クラブを利用して、又は今後利用する場合に、望むことは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|---------------------|
| 1 自宅から近いこと | 8 障害児を受け入れること | 13 子どもの意見を十分取り入れること |
| 2 行き帰りが安全であること | 9 学校が休みの日に利用できること | 14 費用がかからないこと |
| 3 利用時間が延長されること | 10 夕食を提供してくれること | 15 おやつが充実すること |
| 4 建物や設備（遊び道具など）が整っていること | 11 長期休暇中（夏休み等）に昼食を提供してくれること | 16 学校から近いこと |
| 5 指導内容が充実すること | 12 学童クラブを利用していない子どもとの交流ができること | 17 学童を利用するつもりはない |
| 6 指導員と養育者の交流（保護者会、イベント等）があること | 13 学童クラブを利用していない子どもとの交流 | 18 その他（ |
| 7 小学校高学年の子どもを受け入れること | | ） |

問4 現在利用している学童クラブ、又は今後利用しようと思っている学童クラブは何時まで開いていますか。また、学童クラブは何時まで開いているか。それぞれ1つずつ選んでください。

【実際の時間】

- | | | | |
|-----------|-----------------|------------|-----------------|
| 1 18時～ | 7 21時～ | 7 18時～ | 7 21時～ |
| 2 18時30分～ | 8 21時30分～ | 8 18時30分～ | 8 21時30分～ |
| 3 19時～ | 9 22時～ | 9 19時～ | 9 22時～ |
| 4 19時30分～ | 10 22時01分以降 | 10 19時30分～ | 10 22時01分以降 |
| 5 20時～ | 11 学童を利用する予定はない | 11 20時～ | 11 学童を利用する予定はない |
| 6 20時30分～ | | 12 20時30分～ | |

【希望する時間】

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1 18時～ | 7 21時～ |
| 2 18時30分～ | 8 21時30分～ |
| 3 19時～ | 9 22時～ |
| 4 19時30分～ | 10 22時01分以降 |
| 5 20時～ | 11 学童を利用する予定はない |
| 6 20時30分～ | |

問5 夏休みなど長期休暇時について、現在利用している学童クラブ、又は今後利用しようと思っている学童クラブは何時から開いていますか。また、学童クラブは何時から開いてほしいと思いますか。それぞれ1つずつ選んでください。

【実際の時間】

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 7時以前 | 7 9時～ |
| 2 7時～ | 8 9時30分～ |
| 3 7時30分～ | 9 10時～ |
| 4 8時～ | 10 学童を利用する予定はない |
| 5 8時30分～ | |

【希望する時間】

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 7時以前 | 7 9時～ |
| 2 7時～ | 8 9時30分～ |
| 3 7時30分～ | 9 10時～ |
| 4 8時～ | 10 学童を利用する予定はない |
| 5 8時30分～ | |

<p>問6 学童クラブはどこに設置されているのが望ましいと思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。</p> <p>1 学校の校舎内 2 学校の敷地内の別棟 3 児童館 4 その他()</p> <p>問7 過去1年間に、通常、お子さんの世話をしている方に、次のようなことがあったときに、どのように対応しましたか。それぞれの場について、主な対応を3つまでお答えください。</p>	
<p>【親の帰宅が遅くなり、夜間子どもだけになった】</p> <p>1 その他の家族に頼んだ 2 別居の親族に頼んだ 3 友人・知人に頼んだ 4 ベビーホテルを利用した 5 ベビーシッター等を利用した 6 子どもだけにおいた 7 児童養護施設等でのショートステイやトワイライトステイを利用した 8 保育所等の一時保育を利用した 9 ファミリー・サポート・センターを利用した 10 ひとり親家庭ホームヘルプサービスを利用した 11 その他() 12 そのようなことはなかった</p>	<p>【泊りがけの用事で親が子どもの世話をできなかった】</p> <p>1 その他の家族に頼んだ 2 別居の親族に頼んだ 3 友人・知人に頼んだ 4 ベビーホテルを利用した 5 ベビーシッター等を利用した 6 子どもだけにおいた 7 児童養護施設等でのショートステイやトワイライトステイを利用した 8 保育所等の一時保育を利用した 9 ファミリー・サポート・センターを利用した 10 ひとり親家庭ホームヘルプサービスを利用した 11 その他() 12 そのようなことはなかった</p>

ひとり親世帯以外の方は、以上で調査票は終了です。御協力ありがとうございました。調査票も御協力お願いいたします。

20歳未満の子どもを養育するひとり親世帯

《20歳未満のお子さんを養育しているひとり親世帯の方にお聞きします》

問1	ひとり親になったとき、1番下のお子さんは何歳でしたか	
	歳	
問2	平成19年10月27日現在で、ひとり親になっておよそ何年になりますか	
	年	
問3	ひとり親になった理由についてお聞きします。次の中から当てはまるものをお選びください	
	1 死別	
	2 生別（離婚）	
	3 生別（非婚・未婚）	
	4 その他（ ）	
問3	で2、3と回答した方にお聞きします》(1、4と回答した方は問5にお進みください)	
問4	あなたは、離別した子ども之母親又は父親から、養育費を受けていますか。	
	1 受けている	
	2 受けたことがある	
	3 受けたことがない	
問4-1	1か月の金額はおおよそどれぐらいですか。次の中からお選びください。	
	1 10,000円未満	5 60,000～80,000円未満
	2 10,000～20,000円未満	6 80,000～100,000円未満
	3 20,000～40,000円未満	7 100,000円以上
	4 40,000～60,000円未満	8 額は決まっていない

《全員にお聞きします》

問5 あなたは、暮らし向きのことや子育てに関して今までに何か困ったことがありますか

- 1 あった
- 2 なかった

《問5で1と回答した方にお聞きします》

問5-1 あなたがひとり親になったときに困ったことは何ですか。また、現在困っていることは何ですか。それぞれ、次の中から3つまでお答えください。

【ひとり親になった当時】

- 1 家計について
- 2 仕事について
- 3 住居について
- 4 家事について
- 5 健康について
- 6 子どもの世話について
- 7 子どもの教育・進路・就職について
- 8 社会的偏見（世間体）について
- 9 その他（ ）
- 10 特にない

【現在】

- 1 家計について
- 2 仕事について
- 3 住居について
- 4 家事について
- 5 健康について
- 6 子どもの世話について
- 7 子どもの教育・進路・就職について
- 8 社会的偏見（世間体）について
- 9 その他（ ）
- 10 特にない

《全員にお聞きします》

問6 あなたは次のaからjまでの公的制度を利用したことがありますか。それぞれについて当てはまるものを選んでください。また、利用したことがない場合は、その理由もお答えください。

【制度利用の有無】

	【利用したことがない理由】		利用要件(所得等)を満たしていない	その他
	必要がない	制度を知らなかった(制度がなかった)		
a 生活保護	1	2	3	4()
b 児童扶養手当	1	2	3	4()
c 児童育成手当	1	2	3	4()
d ひとり親家庭等医療費助成	1	2	3	4()
e ひとり親家庭ホームヘルプサービス	1	2	3	4()
f ひとり親 Tokyo での相談	1	2	3	4()
g 母子自立支援プログラム策定事業	1	2	3	4()
h 母子福祉資金	1	2	3	4()
i 母子家庭自立支援教育訓練給付金	1	2	3	4()
j 母子家庭高等技能訓練促進費	1	2	3	4()

共通

就学前

小学生

ひとり親

問7 あなたはひとり親世帯になった当時、暮らしを立てる上で、どうされましたか。
次の中から、当てはまるものをすべてお答えください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 仕事を続けた | 9 保険金や補償金を使った |
| 2 配偶者の仕事を継いだ | 10 実家・親戚等を頼った |
| 3 自分が仕事を始めた | 11 母子福祉資金の貸付を受けた |
| 4 子どもが学校を退学した、又は仕事を始めた | 12 生活福祉資金の貸付を受けた |
| 5 預貯金を取り崩した | 13 借金(サラ金、カードローン等)をした |
| 6 配偶者の勤め先からの退職金を使った | 14 生活保護を受けた |
| 7 転職した | 15 その他() |
| 8 慰謝料や養育費を使った | |

《働いている方にお聞きします》

問8 あなたは、転職する希望がありますか。

- 1 現在の仕事を続けたい
 2 仕事を变えたい

《問8で2と答えたい方にお聞きします》

問8-1 仕事を变えたい理由は何か。次の中から当てはまるものをすべてお答えください

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 収入が良くない | 6 労働時間が合わない |
| 2 勤め先が自宅から遠い | 7 将来が不安 |
| 3 健康がすぐれない | 8 職場内でのひとり親に対する偏見 |
| 4 仕事の内容が良くない | 9 その他() |
| 5 職場環境が合わない | |

以上で調査票 は終了です。御協力ありがとうございました。調査票 も御協力をお願いいたします。

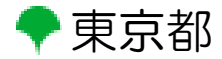
ことばの説明

ことば	説 明
子育てひろば (保育所・児童館等)	保育所、児童館等において、行政、社会福祉法人、NPO 法人等が実施主体となり、地域における子育ての援助を行うことにより、児童の健全育成を図る。子育てに関する相談や講座等の開催、地域の子育て関連情報の提供などを行っている。
認可保育所	保護者が児童（0 歳～小学校就学前）の世話をすることができない事情があるとき、保護者に代わって保育する施設で、区市町村が設置したもの及び認可を受けているもの。
認定こども園	幼稚園、保育所等のうち、就学前の子どもを保護者の就労の有無にかかわらず受け入れ、幼児教育と保育を一体的に提供する機能 地域における子育て支援を行う機能を備え、都道府県の認定を受けた施設。
認証保育所	多様化している保育ニーズに柔軟に対応するため、大都市の特性に着目した東京都独自の認証基準を満たし、東京都が認証した認可外保育施設。
家庭福祉員(保育ママ)	保護者が勤めているなどの理由で保育を要する3歳未満の児童を、保育の知識や経験を持ち、一定の資格要件を満たすとして、区市町村長が認定した人が、自宅で保育をする。
ファミリー・サポート・センター	「育児の手助けをしたい方（提供会員）」と「手助けを受けたい方（依頼会員）」が、地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織。有償のボランティア活動。
ベビーホテル	次の条件のうち、どれか一つでも該当する認可外保育施設。 午後7時以降の保育を行っているもの。 児童の宿泊を伴う保育を行っているもの。 時間単位での児童の預かりを行っているもの。
児童養護施設	1歳以上の保護者のいない子ども、虐待されている子ども、その他環境上養護を要する子どもを養育する児童福祉施設。
児童館	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は、情操を豊かにすることを目的とする施設。
シヨートステイ	保護者が疾病等の理由により子どもの養育が一時的に困難になった場合などに、児童養護施設等において7日以内の範囲で預かったり、保育士等を派遣する。
トワイライトステイ	保護者が仕事等の理由により恒常的に帰宅が夜間にわたる場合や休日不在等の場合に、児童養護施設等において、放課後から夜間まで預かったり、保育士等を派遣する。

ことば	説明
学童クラブ	小学校に就学しているおおむね 10 歳未満の児童であって、保護者が労働等により昼間家庭にいない者に、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業。
児童扶養手当	父母の離婚等により、父親と生計をともにしない児童を養育している母子家庭等に対し、生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当。
児童育成手当	父母の離婚等により、父または母と生計をともにしない児童を養育しているひとり親家庭や、心身に障害がある児童等を養育している家庭に対し、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当。
ひとり親家庭等医療費助成	児童を養育するひとり親家庭等に対して、医療保険の自己負担金の一部を助成する制度
ひとり親家庭ホームヘルプサービス	ひとり親になった直後や親が一時的な病気等で、家事又は育児等の日常生活に支障をきたしている家庭に対し、ホームヘルパー等を派遣し、食事の世話、育児、掃除などを行う制度。
ひとり親 Tokyo	(財)東京都母子寡婦福祉協議会のこと。都内の母子家庭の母及び寡婦等の自立への援助を図り、相互扶助と福祉の増進に努め、健全な家庭生活をもたらすことを目的として設立された協議会。
母子自立支援プログラム策定事業	母子自立支援プログラム策定員が、児童扶養手当受給者の自立・就労支援のために個々の状況・ニーズに応じた自立支援計画書を策定し、生活保護受給者等就労支援事業等を活用し、ハローワークとの連携のもと、支援を行う事業。
母子福祉資金	20 歳未満の子どもを扶養している母子家庭の母等に対して、経済的に自立して、安定した生活を送るために必要とする資金の貸出を行う制度。
母子家庭自立支援教育訓練給付金	適職に就くために必要な教育訓練講座を受講する母子家庭の母に対し、受講費用の一部を助成する制度。
母子家庭高等技能訓練促進費	資格取得するために養成機関で修行する母子家庭の母で、就業又は育児と修行の両立が困難である者に対して、受講期間の一定期間、支給する費用。
生活福祉資金	所得の少ない世帯、障害者又は介護を要する高齢者のいる世帯に対し、必要な資金を貸し付け、経済的自立や社会参加の促進を図る制度。



総務省届出済



東京都指定統計調査第4号

この調査票に記入された事項は、統計以外の目的に使用したり、他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、ありのままを記入してください。

回収予定日 月 日

平成19年度 東京都福祉保健基礎調査 調査票 (平成19年10月27日現在)

調査御協力のお願いと記入上の注意

この調査は、現在小学生以下のお子さんを養育している方又は20歳未満のお子さんを養育しているひとり親の方に子育てに関する意識についてお尋ねするものです。
記入に当たっては、回答を選択肢の中から選び、選んだ番号を で囲んでください。「その他」を選んだ場合は、その具体的内容を()内に記入してください。
お忙しいところ恐縮ですが、御協力をよろしくお願い申し上げます。

回答 状況	1 回答	調査不能			
		2	3	4	5

調査番号				家族の 状況
地区番号		世帯番号		

調査地区 区市町村

調査員氏名

あなたの性別及び年齢を教えてください。

1 男	2 女
-----	-----

歳

(平成 19 年 10 月 27 日現在)

就労状況

《全員にお聞きします。》

【問 1】 あなたの現在の就労状況について、当てはまるものに○をしてください。

- 1 働いている
- 2 産休・育休中である
- 3 病気等で休んでいる
- 4 以前は働いていた
- 5 今まで働いたことはない → 《問 5 へ》

《問 1 で 1～4 を選んだ方にお聞きします。》

→【問 2】 あなたは、今までに子育てを理由として、転職をしたことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない

→【問 3】 あなたは、子どもが生まれた後、勤務時間の調整（短時間勤務、フレックス、勤務時間の繰上げ、繰下げ等）をしましたか、又は職場復帰後、調整をする予定ですか。

- 1 はい
- 2 いいえ 《問 3-2 へ》

《問 3 で 1 を選んだ方にお聞きします。》

→【問 3-1】 勤務時間は十分に調整できた（できる）と思いますか。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 どちらとも言えない

《問 3(2 ページ)で 2(勤務時間の調整をしなかった)を選んだ方にお聞きします。》

【問 3-2】調整をしなかった(しない)理由は何ですか。

次の中から最も大きな理由を 1 つ選び、○をしてください。

- 1 勤務先で制度が整っていない(いなかった)から
- 2 上司の理解が得られなかったから
- 3 職場全体として、取りづらい雰囲気だったから
- 4 家計が苦しくなるから
- 5 配偶者の理解が得られなかったから
- 6 制度を利用できることを知らなかったから
- 7 その当時、就労していなかったから
- 8 調整する必要がなかったから
- 9 その他 ()

《問 1(2 ページ)で 4(以前は働いていた)を選んだ方にお聞きします。》

【問 4】仕事をやめた理由は何ですか。

次の中から最も大きな理由を 1 つ選び、○をしてください。

- 1 結婚のため
- 2 育児に専念したかったため
- 3 子どもの預け先がなかったため(遠かったため)
- 4 子育てについて職場の理解が得られなかったから
- 5 仕事を続けることについて、家族の理解が得られなかったから
- 6 家族の介護や看護のため
- 7 家族の転勤や通勤上の理由のため
- 8 健康上の理由
- 9 仕事が自分に向かなかったから
- 10 労働条件(労働時間、賃金等)が合わなかったから
- 11 仕事を続けることの意義を感じなかったから
- 12 会社倒産や人事整理など会社の都合から
- 13 その他 ()

《問 1 (2 ページ) で 4 (以前は働いていた)、5 (今まで働いたことはない) を選んだ方にお聞きします。》

【問 5】あなたは、今後働きたいと思いますか。

- 1 今すぐにでも働きたい
- 2 いずれ働きたい
- 3 今後も働くつもりはない

《問 5 で 1、2 を選んだ方にお聞きします。》

▶【問 5-1】今後働きたいと思う理由は何ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 社会とのつながりがほしいから
- 2 自分の能力を生かしたいから
- 3 自分の自由になるお金がほしいから
- 4 働かないと家計が苦しいから
- 5 育児から離れる時間がほしいから
- 6 育児と家事は両立できると思うから
- 7 自分が働くことについて、家族が理解し、協力してくれるから
- 8 仕事を持つのは当然のことだと思うから
- 9 その他 ()

▶【問 5-2】どのような条件が満たされれば、働くことができると思いますか。次の中から当てはまるものを3 つまで選んでください

- 1 子どもをどこかに預けられたら
- 2 末子が幼稚園に入園したら
- 3 末子が小学校に入学したら
- 4 子育てに手がかからなくなったら
- 5 家族の理解が得られれば
- 6 短い時間でも働ける職場があれば
- 7 以前の勤務先に再雇用制度 () が導入されれば
- 8 家に近い職場があれば
- 9 自分の能力を活かせる職場があれば
- 10 希望する労働条件であれば
- 11 その他 ()

「再雇用制度」とは、育児、介護を理由に退職した労働者が再び雇用されることを希望する場合に優先的に採用することなどを言います。

《問 5 で 3 を選んだ方にお聞きします。》

▶【問 5-3】働くつもりがない理由は何ですか。次の中から最も大きい理由を1 つ選んでください。

- 1 育児に専念したいから
- 2 働く必要がないから
- 3 育児と仕事の両立は難しいと思うから
- 4 家族の理解が得られないから
- 5 健康がすぐれないから
- 6 働きたくないから
- 7 その他 ()

育児休業制度について

《全員にお聞きします。》

【問6】あなたは、これまでに育児休業制度を利用したことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない → 《問6-4へ》

《問6で1と答えた方にお聞きします。》

→【問6-1】実際に育児休業を取った期間はどれぐらいですか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。お子さんが複数いらっしゃる場合は、直近で育児休業をとった場合についてお答えください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 1か月未満 | 5 8か月以上10か月未満 |
| 2 1か月以上3か月未満 | 6 10か月以上1年未満 |
| 3 3か月以上6か月未満 | 7 1年以上1年6か月未満 |
| 4 6か月以上8か月未満 | 8 1年6か月以上 |

→【問6-2】育児休業の期間を自分で自由に決められるとしたら、どれだけの期間取りたいと思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 1か月未満 | 5 8か月以上10か月未満 |
| 2 1か月以上3か月未満 | 6 10か月以上1年未満 |
| 3 3か月以上6か月未満 | 7 1年以上1年6か月未満 |
| 4 6か月以上8か月未満 | 8 1年6か月以上 |

《問6-2で8と答えた方にお聞きします。》

→【問6-2-1】具体的に、いつまで育児休業を取りたいと思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 1番下の子が2歳になるまで | 5 1番下の子が小学校に入学するまで |
| 2 1番下の子が3歳になるまで | 6 1番下の子が小学校高学年になるまで |
| 3 1番下の子が4歳になるまで | 7 1番下の子が小学校を卒業するまで |
| 4 1番下の子が5歳になるまで | 8 その他 () |

《問 6-1 と問 6-2 で選んだ番号が違う(現実と理想に差がある)方にお聞きします。》

【問 6-3】育児休業を、実際に取得した期間と自分が取りたいと思う期間に差があるのはどうしてだと思いますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 制度上、自分の希望する期間まで育児休業が取れないから
- 2 上司の理解が得られないから
- 3 職場全体として、長期間の育児休業を取りづらい雰囲気だから
- 4 早く職場に復帰しないと家計が苦しいから
- 5 長く仕事から離れていると、仕事についていけなくなる気がしたから
- 6 配偶者の理解が得られないから
- 7 希望の時期に保育所に入所できない(できなかった)から
- 8 その他()

《問 6 で 2(育児休業制度を利用したことがない)と答えた方にお聞きします。》

【問 6-4】育児休業を利用しなかったのはなぜですか。次の中から最も大きい理由を 1 つ選んでください。

- 1 勤務先で制度が整っていない(いなかった)から
- 2 上司の理解が得られなかったから
- 3 職場全体として、取りづらい雰囲気だったから
- 4 自分が休むと家計が苦しくなるから
- 5 配偶者の理解が得られなかったから
- 6 育児休業制度を利用できることを知らなかったから
- 7 その当時、就労していなかったから
- 8 取る必要がなかったから
- 9 その他()

子どもの看護休暇制度

《現在働いている方(2 ページの問 1 で 1 と答えた方)にお聞きします。》

(それ以外の方(問1で2~5と答えた方)は問9へお進みください。)

【問7】最近1年間に、お子さんが病気、けがのために通っている施設(学校、保育所等)を休まなければならなかった(早退を含む)ことはありますか。

- 1 はい
- 2 いいえ → 《問8へ》

《問7で1を選んだ方にお聞きします。》

→【問7-1】施設を休まなければならなかった日数は、過去1年間で何日ぐらいですか。お子さんが2人以上いる場合は、合計日数をお答えください。

日

→【問7-2】お子さんが病気、けがをしたとき、どのように対応しましたか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| 1 自分が有給休暇をとった | 7 利用している保育所以外(保育ママ等含む)の病児一時預かりを利用した |
| 2 自分が看護休暇をとった | 8 同居している親戚に預けた |
| 3 配偶者が有給休暇をとった | 9 同居以外の親戚に預けた |
| 4 配偶者が看護休暇をとった | 10 近所の友人に預けた |
| 5 ベビーシッター等呼んだ | 11 特に対応する必要がなかった |
| 6 利用している保育所の病児一時預かりを利用した | 12 その他() |

→【問7-3】お子さんが病気、けがをしたとき、どのように対応したいですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------------------|
| 1 自分が有給休暇をとりたい | 7 利用している保育所以外(保育ママ等含む)の病児一時預かりを利用したい |
| 2 自分が看護休暇をとりたい | 8 同居している親戚に預けたい |
| 3 配偶者に有給休暇をとってほしい | 9 同居以外の親戚に預けたい |
| 4 配偶者に看護休暇をとってほしい | 10 近所の友人に預けたい |
| 5 ベビーシッター等呼びたい | 11 その他() |
| 6 利用している保育所の病児一時預かりを利用したい | |

【問 8】あなたは、お子さんが病気、けがをしたとき、看護休暇制度を利用したことがありますか。

- 1 利用したことがある
- 2 利用したことがない

《問 8 で 2 を選んだ方にお聞きします。》

→【問 8-1】利用したことがないのはなぜですか。次の中から最も大きい理由を 1 つ選んでください。

- 1 勤務先に看護休暇制度がない（なかった）から
- 2 勤務先に看護休暇制度はあるが、要件を満たしていなかったから
- 3 看護休暇制度があることを知らなかったから
- 4 仕事を休まなくても対応できたから
- 5 仕事の調整ができなかったから
- 6 別の制度（有給休暇等）を使って、仕事を休んだから
- 7 職場の上司の理解が得られなかったから
- 8 職場全体として、取得できる雰囲気ではなかったから
- 9 その他（ ）

看護休暇とは・・・

小学校入学までの子を養育する労働者が、1年に5日まで、けがや病気をした子の看護のために取得できる休暇のことです。平成17年4月1日施行の改正育児・介護休業法により、事業主の義務となりました。

子育てに関して感じること

《全員にお聞きします。》

【問9】あなたは、出産や子育てをしやすいするためには、何が必要だと思いませんか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 仕事の時間を短縮したり、ずらしたりする制度
- 2 育児休業制度の普及
- 3 子育てに理解のある職場環境の整備
- 4 育児手当など経済的な手当の充実
- 5 職場内保育施設の整備
- 6 出産・育児のために退職した人が復帰できる制度の充実
- 7 子どもが病気やけがをしたときに休暇を取れる制度の充実
- 8 夜間・休日を問わず、子どもを預けられる保育サービスの整備
- 9 小学生の子どもを預けられるサービスの整備
- 10 求職中に子どもを預けられるサービスの整備
- 11 出産や子育てに関する情報提供や相談の場の整備
- 12 子育て家庭の住宅環境の整備
- 13 男女が共に子育てに携わる意識啓発
- 14 子どもの遊び場環境の整備
- 15 その他（)
- 16 特にない

【問 10】あなたは、次のようなことをお感じになることがありますか。a から v までのそれぞれの項目について、当てはまるものを 1 つずつ 選んでください。

	よくある	ときどき ある	ほとんど ない	まったく ない
a 子育てによって、自分が成長したと感じる	1	2	3	4
b 自分の子どもは、結構うまく育っていると思う	1	2	3	4
c 子どもを育てるために、我慢ばかりしていると思う	1	2	3	4
d 子どもが将来うまく育ってくれるかどうか心配になる	1	2	3	4
e 子どものことで、どうしたらよいかわからなくなる	1	2	3	4
f 子どもの顔を見るとイライラする	1	2	3	4
g 子どもの顔を見ると、気持ちが安らぐ	1	2	3	4
h 子育てによって、様々な経験ができたと思う	1	2	3	4
i 子どもがかわいく思えない	1	2	3	4
j 子どもの世話をするのが嫌になる	1	2	3	4
k 育児や家事に追われる自分をかわいそうに思う	1	2	3	4
l 一人になりたいときがある	1	2	3	4
m 子育てによって、人間関係が広がったと思う	1	2	3	4
n 子育てによって、生活が充実していると感じる	1	2	3	4
o 子どもがいなければよかったと思う	1	2	3	4
p 配偶者が子育てに協力してくれないと思う	1	2	3	4
q 子どもの発育や教育について心配になる	1	2	3	4
r 子育てに関して周りの理解がないと思う	1	2	3	4
s 子どもを通しての付き合いが面倒だと思う	1	2	3	4
t 子どもがいじめられたりしないか心配になる	1	2	3	4
u 子どもを育てるのは、楽しくて幸せなことだと思う	1	2	3	4
v 子どもができてよかったと思う	1	2	3	4

【問 11】あなたは、お子さんについての悩みや心配事について相談する、相談相手がありますか。

- 1 いる
- 2 いないので欲しい
- 3 必要ない

《問 11 で1を選んだ方にお聞きします。》

▶【問 11-1】お子さんの悩みや心配事については、誰に相談していますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1 配偶者 | 8 職場の人 |
| 2 自分や配偶者の親 | 9 隣近所の人 |
| 3 配偶者以外の家族や親族 | 10 医師、看護師、保健師等 |
| 4 保育所や幼稚園等の先生 | 11 公的機関の相談員 |
| 5 塾や習いごとの先生 | 12 電話相談の相談員 |
| 6 気軽に相談できる友人 | 13 メール相談の相談員 |
| 7 子どもの学校や幼稚園、保育所
などを通じて親しくなった人 | 14 インターネットを通じた交流の仲間 |
| | 15 その他() |

《問 11 で2を選んだ方にお聞きします。》

▶【問 11-2】お子さんの悩みや心配事について誰に相談したいですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1 配偶者 | 8 職場の人 |
| 2 自分や配偶者の親 | 9 隣近所の人 |
| 3 配偶者以外の家族や親族 | 10 医師、看護師、保健師等 |
| 4 保育所や幼稚園等の先生 | 11 公的機関の相談員 |
| 5 塾や習いごとの先生 | 12 電話相談の相談員 |
| 6 気軽に相談できる友人 | 13 メール相談の相談員 |
| 7 子どもの学校や幼稚園、保育所
などを通じて親しくなった人 | 14 インターネットを通じた交流の仲間 |
| | 15 その他() |

家族のコミュニケーション

《全員にお聞きします》

【問 15】子どもと一緒に過ごす時間は1日どれくらいですか。平日、休日それぞれについて、次の中から当てはまるものを1つずつ選んでください。

平日	休日
1 30分未満	1 30分未満
2 30分～1時間未満	2 30分～1時間未満
3 1～2時間未満	3 1～2時間未満
4 2～3時間未満	4 2～3時間未満
5 3～4時間未満	5 3～4時間未満
6 4～5時間未満	6 4～5時間未満
7 5時間以上	7 5時間以上
8 ほとんどない	8 ほとんどない

ひとり親の方は、こちらで終了です。東京の福祉保健行政に御意見や御要望がある方は、最終ページに御記入ください。長時間にわたり御協力ありがとうございました。

《配偶者がいる方にお聞きします》

【問 16】御夫婦のコミュニケーションについてお聞きします。次の a から h までのそれぞれの項目について、当てはまるものを 1 つずつ 選んでください。

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
a 夕食を一緒にする	1	2	3	4
b 買い物と一緒に行く	1	2	3	4
c 趣味について話し合う	1	2	3	4
d 旅行に出かける	1	2	3	4
e 帰宅時間や週の予定について話す	1	2	3	4
f 昼間あったことを話し合う	1	2	3	4
g 休日の過ごし方について話し合う	1	2	3	4
h 心配事や悩み事を相談する	1	2	3	4

【問 17】御夫婦の 1 日の会話時間はどれくらいですか。平日、休日それぞれについて、次の中から当てはまるものを 1 つずつ 選んでください。

平日	休日
1 30 分未満	1 30 分未満
2 30 分～1 時間未満	2 30 分～1 時間未満
3 1～2 時間未満	3 1～2 時間未満
4 2～3 時間未満	4 2～3 時間未満
5 3～4 時間未満	5 3～4 時間未満
6 4～5 時間未満	6 4～5 時間未満
7 5 時間以上	7 5 時間以上
8 ほとんどない	8 ほとんどない

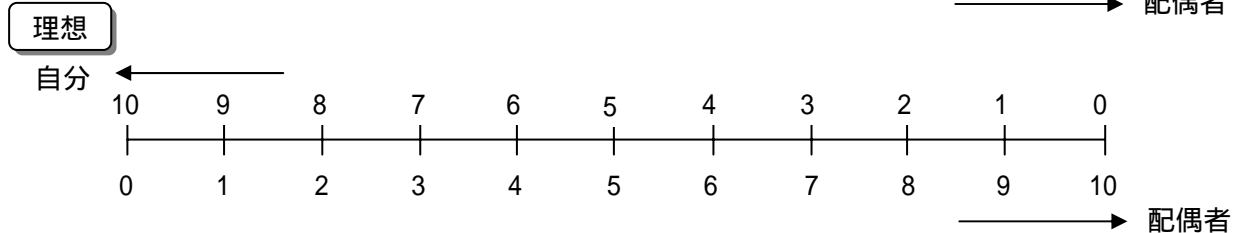
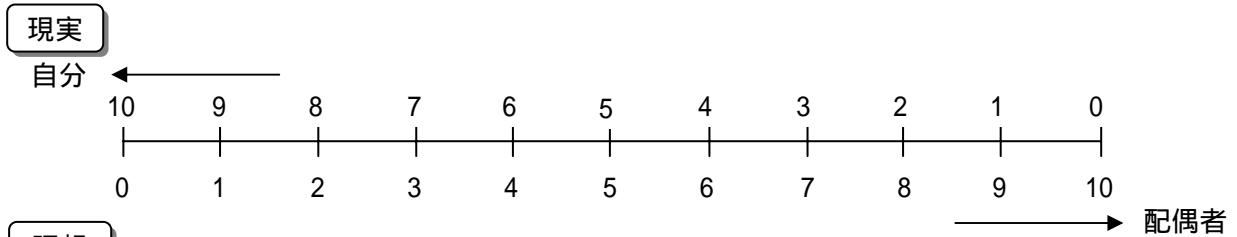
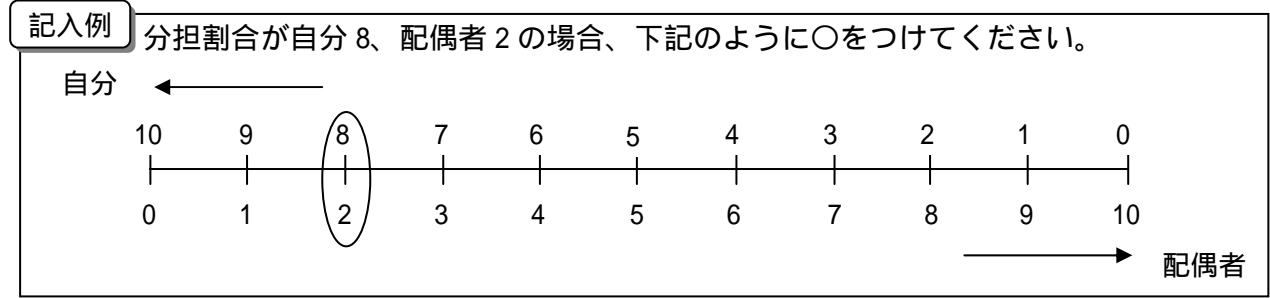
夫婦の家事・育児分担

《配偶者がいる方にお聞きします》

【問 18】あなたの家庭では、次に挙げた家事・育児は、主として誰が行っていますか。次の a から n までのそれぞれの項目について、当てはまるものを 1 つずつ 選んでください。

	ほとんど妻	妻が主で夫が従	夫と妻で同程度	夫が主で妻が従	ほとんど夫	妻・夫以外の人
a 食事を作る	1	2	3	4	5	6
b 食後の片付け	1	2	3	4	5	6
c 部屋の掃除	1	2	3	4	5	6
d トイレの掃除	1	2	3	4	5	6
e 風呂の掃除	1	2	3	4	5	6
f 食品や日用品の購入	1	2	3	4	5	6
g 洗濯物をたたむ	1	2	3	4	5	6
h ごみを出す	1	2	3	4	5	6
i 子どもの遊び相手をする	1	2	3	4	5	6
j 子どものおむつの取替え	1	2	3	4	5	6
k 子どもを風呂に入れる	1	2	3	4	5	6
l 保育所、幼稚園等の送迎	1	2	3	4	5	6
m 保育所、学校行事等への参加	1	2	3	4	5	6
n 子どもの勉強をみる	1	2	3	4	5	6

【問 19】あなたの家庭の現在の家事、育児分担割合は、あなたと配偶者でどうなっていると思いますか。また、本当はどれぐらいの分担割合にしたいと思いますか。現実と理想それぞれについて、下記の記入例のように、1つずつ○をつけてください



《配偶者にもっと家事・育児をやってほしいと思っている方(問 19 で、理想の方の○が現実よりも右側にある方)にお聞きします。》

【問 19-1】どのようにすれば、もっと配偶者に家事・育児をやってもらえると思いますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 配偶者の勤務時間が短縮できれば | 6 配偶者自身の意識が変われば |
| 2 配偶者の職場が自宅から近くなれば | 7 自分の収入が増えれば |
| 3 配偶者が育児休業等を取得できれば | 8 自分が仕事に就いたら |
| 4 配偶者以外の親戚の理解が得られれば | 9 その他 () |
| 5 配偶者の家事能力が向上すれば | |

《自分がもっと家事・育児をやりたいと思っている方(問 19 で、理想の方の○が現実よりも左側にある方)にお聞きします。》

【問 19-2】どのようにすれば、もっと自分が家事・育児をできると思いますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 自分の勤務時間が短縮できれば | 5 配偶者以外の親戚の理解が得られれば |
| 2 自分の職場が自宅から近くなれば | 6 配偶者の収入が増えれば |
| 3 自分が育児休業等を取得できれば | 7 配偶者が仕事に就いたら |
| 4 自分の家事能力が向上すれば | 8 その他 () |

東京都の福祉保健行政に関して御意見や御要望がありましたら、お聞かせください。

長時間にわたり御協力いただきまして、ありがとうございました。
この調査の結果は、まとめ次第公表し、東京都の福祉・保健・医療施策の重要な基礎資料とします。

調査担当

東京都 福祉保健局 総務部 企画課
統計調査係（福祉保健基礎調査担当）
電話 03 - 5321 - 1111（代表）
内線 32 - 017、32 - 018

2 主な用語の説明

地域

- 区中央部・・・千代田区、中央区、港区、文京区、台東区
区南部・・・品川区、大田区
区西南部・・・目黒区、世田谷区、渋谷区
区西部・・・新宿区、中野区、杉並区
区西北部・・・豊島区、北区、板橋区、練馬区
区東北部・・・荒川区、足立区、葛飾区
区東部・・・墨田区、江東区、江戸川区
西多摩・・・青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町
南多摩・・・八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市
北多摩西部・・・立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市
北多摩南部・・・武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市
北多摩北部・・・小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市
島しょ・・・伊豆諸島

住居の種類

住居の種類は住宅の所有関係により次のように分類した。

1 持家

世帯主、世帯員又はその親や子の名義の住宅をいう。

(1) 持家（一戸建て）

1 建物 1 住宅であるもの

(2) 持家（分譲マンション等）

分譲の民間共同住宅（マンション）や分譲の公社・公団住宅をいう。

2 借家・賃貸住宅

(1) 都・区市町村の公営賃貸住宅

(2) 都市機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅

都市再生機構、（旧）都市基盤整備公団、住宅供給公社、（旧）開発公社などの賃貸住宅をいう。

(3) 民間賃貸住宅（一戸建て）

(4) 民間賃貸住宅（共同住宅）

(5) 間借り

(6) 社宅等の給与住宅

勤め先の会社・官公庁や雇主などが所有又は管理している住宅（独身寮を含む）をいう。

3 その他

○ 子ども部屋の有無

他の世帯員と共有している場合は、「なし」に区分した。第一子に個室があるが、第二子と第三子は共有という場合などを「一部の子どもに個室あり」とした。

居住開始時期

現在の住居の住み始めた時期のことで、その場所での建て替えも継続して居住時期に含む。

就労の状況

平成 19 年 10 月 27 日現在の就労の状況により、次のように分類した。

1 働いている

(1) 主に仕事

主に仕事をしていた場合

(2) 家事などのかたわらに仕事

主に家事等をしていてそのかたわらに仕事をした場合

(3) 通学のかたわらに仕事

主に通学をしていてそのかたわらに仕事をした場合

2 働いていない

(1) 産休・育児休業中である

就業している人が妊娠出産休暇または育児休業で仕事を休んでいた場合

(2) 病気等で休んでいる

就業している人が病気やけがで仕事を休んでいた場合。なお、「産休・育児休業中である」「病気等で休んでいる」というのは、職場に籍は置いているが、働いていない状態を想定している。

(3) 仕事を探している

(4) 家事・育児

主に家事・育児をしていた場合

(5) 通学

主に通学していた場合

(6) その他

共働きの状況

就労の状況で「働いている」人と、「働いていない」人のうち「産休・育児休業中である」「病気等で休んでいる」人を「就業」、それ以外の人を「非就業」とし、以下のとおり分類した。

1 共働きである

父母とも「就業」である世帯

2 共働きでない

(1) 父親のみ働いている

父が「就業」、母が「非就業」である世帯

- (2) 母親のみ働いている
父が「非就業」、母が「就業」である世帯
- (3) 両方働いていない
父母とも「非就業」である世帯

○ 従業上の地位

就業者の事業所における従業上の地位によって、次のように分類した。

1 自営業

個人経営の商店主、工場主、農業主などの事業主や開業医、弁護士、著述家などと、農家や個人商店などで、農業や店の仕事を手伝っている家族をいう。

2 正規の職員・従業員

会社員、公務員、団体職員、個人商店の従業員、住込みの家事手伝いなどで、雇用期間について別段の定めがないか、あるいは1年を超える期間を定めて他に雇われている人で役員ではない人をいう。

3 会社・団体等の役員

会社の社長、取締役、監査役、団体などの理事、幹事などの役員をいう。

4 パート・アルバイト

就業の時間や日数に関係なく、勤め先で「パートタイマー」「アルバイト」又はそれらに近い名称で呼ばれている人をいう。

5 労働派遣事業所の派遣社員

労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいう。

6 契約職員・嘱託

契約職員については、専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用されている人、雇用期間の定めのある人をいう。

嘱託については、労働条件や契約期間に関係なく、勤め先で「嘱託職員」又はそれに近い名称で呼ばれている人をいう。

7 その他

○ 通勤時間

平成19年10月27日現在、通常勤務している場所への通勤時間。

○ 1日あたりの実労働時間

就業規則などに定められている就業時間に関係なく、通常の場合の1日の実労働時間。不定期の場合は、調査の直前の勤務日の就業時間。

○ 帰宅時間

通常の場合の帰宅時間。不定期の場合は、直前の勤務日の帰宅時間。

○ 1週間の就労日数

通常の1週間の就労日数で、勤務時間に関係なく、勤務している日数。なお、隔週の週休2日(月2回土曜日が休みのような場合)までは、「6日」とし、隔週の週休3日(月3回土曜日が休みのような場合)は、「5日」とする。

世帯

世帯とは、調査日現在、同一住居又は同一敷地内の別棟に居住しており、かつ、生計を共にしている人(世帯員)の集まり、又は独立して生計を営む単身者をいう。

世帯員

世帯員とは、調査基準日(平成19年10月27日)現在、この世帯に住んでいる人のほか、たまたま一時的に不在の人も含める。例えば、旅行中、入院中(長期療養中で医療機関に住民登録を移している人を除く。)及び船員などのように、生活の本拠はこの世帯におきながら、就業等の場所のみを移動している人は世帯員に含める。

ただし、単身赴任者(出稼ぎ者及び長期海外出張者を含む。)遊学中、別居中、収監中のように、その生活の本拠を他の地に移している人は、たとえ、日常生活上の経済関係がある場合でも世帯員には含めない。

世帯類型(母子・父子世帯)

世帯の状況を世帯員の世帯類型により次のように分類した。

1 両親世帯

配偶関係のある男女とその男女に養育されている20歳未満の子どもを含む世帯

2 ひとり親世帯

(1) 母子世帯

母子のみの世帯

死別、離別、その他の理由(未婚、非婚の場合を含む。)により、現に配偶者のいない女親と20歳未満の子のみによって構成されている世帯

その他

母子以外の世帯員や20歳以上の子がいる世帯

(2) 父子を含む世帯

父子のみの世帯

死別、離別、その他の理由(未婚、非婚の場合を含む。)により、現に配偶者のいない男親と20歳未満の子のみによって構成されている世帯

その他

父子以外の世帯員や20歳以上の子がいる世帯

家族類型

次の分類によった。

親と子

祖父母と親と子

祖父母と子

その他

なお、「祖父母と親と子」には、「祖父と親と子」「祖母と親と子」を含み、「祖父母と子」には、「祖父と子」「祖母と子」を含む。

世帯収入

その世帯の世帯全員の平成 18 年中に収入のあった総額。

収入には、賃金、給与、事業所得、家賃、地代や利子・配当金などの財産収入のほかに仕送り、年金・恩給、社会保障給付金などが含まれる（単身赴任者からの給料等の送金は仕送りに含める。）。

なお、賃金・給与は税金や社会保険料を控除する前の金額であり、事業所得は売上額から仕入額及び備品購入費等の必要経費を差し引いた後の金額である。

世帯収入の種類

1 仕送り

仕送りには、単身赴任者を送り出している世帯などで、単身赴任をしている人の給与振込口座から生活費等として毎月決まって引き出す場合も含む。また、現金だけではなく、品物によるものも含む。

2 その他の社会保障給付金

医療保険からの傷病手当金・出産手当金・休業手当金など、労働者災害保険法による各種補償費、児童手当法等による各種手当をいう。

3 雇用保険

求職者給付、就職促進給付、教育訓練給付等をいう。

〔参考〕 東京都社会福祉（福祉保健）基礎調査の実施状況（過去10年間）

年度	調査名	調査基準日	調査対象・客体数	調査事項
9	東京の子どもと家庭	H9.11.1	15歳以下の子どもがいる世帯 3,000世帯 ひとり親世帯 1,050世帯 小学5年生・中学2年生 1,950人	1 基本的属性 2 世帯の状況 3 就労状況 4 小学生中学生のいる世帯の状況 5 公的制度の利用状況 6 ひとり親家庭の状況 7 小学5年生、中学2年生の生活と意識
10	障害者の生活実態	H11.2.1	身体障害者 6,000人 知的障害者 1,700人 精神障害者 1,000人	1 基本的属性 2 障害の状況 3 住まいの状況 4 日常生活の状況 5 社会・経済・文化活動 6 経済基盤 7 福祉サービスの利用状況 8 自由意見 * 情報の入手方法（身体障害者のみ）
11	福祉のまちづくりに関する都民の意識	H12.2.29	18歳以上の者 6,000人	1 基本的属性 2 各種施設・公共交通機関等の整備状況についての利用者の意識や感想 3 外出時に困っている人を見かけたり、困ったりした経験の有無や内容 4 「福祉のまちづくり」に関する周知度 5 「福祉のまちづくり」に必要な事項 6 費用負担について
12	高齢者の生活実態	H12.12.1	65歳以上の在宅の高齢者 6,000人	1 調査対象者の概況 2 健康状態 3 世話の状況 4 福祉サービス等の利用動向 5 介護保険制度等新たな制度に対する意識 6 住宅の状況 7 家族の状況 8 就業・経済の状況 9 社会参加と意識 10 行政への要望等
13	都民の生活実態と意識	H13.10.25	世帯 6,000世帯 世帯員 11,643人	1 世帯と世帯員の状況 (1) 世帯の状況 世帯の構成、住居の状況 経済の状況 (2) 世帯員の状況 傷病の状況、手帳の所持状況、就業の状況、医療保険の加入状況、介助の状況 2 社会福祉に関する意識 (1) 児童虐待について (2) 里親制度について (3) 福祉サービスと情報について (4) ボランティア活動等の状況について
14	東京の子どもと家庭	H14.10.24	小学生までの子どもを養育する世帯 4,800世帯 20歳未満の子どもを養育するひとり親世帯 1,200世帯	1 基本的属性 2 世帯の状況 3 就労状況 4 就学前の子どもを養育する世帯の状況 5 小学生の子どもを養育する世帯 6 ひとり親家庭の状況 7 子育て家庭の状況と意識
15	障害者の生活実態	H15.11.1	身体障害者 4,000人 知的障害者 1,200人 精神障害者 800人	1 基本的属性 2 障害の状況 3 住まいの状況 4 日常生活の状況 5 経済基盤 6 情報等 7 支援費制度等 8 社会参加等 9 自由意見
16	福祉のまちづくりに関する都民の意識	H16.11.1	18歳以上の者 6,000人	1 基本的属性 2 各種施設・公共交通機関等の整備状況についての利用者の意識や感想 3 外出時に困っている人を見かけたり、困ったりした経験の有無や内容 4 情報バリアフリー 5 「福祉のまちづくり」に必要な事項 6 ユニバーサルデザイン
17	高齢者の生活実態	H17.11.1	65歳以上の在宅の高齢者 6,000人	1 調査対象者の概況 2 健康状態 3 世話の状況 4 福祉サービス等の利用動向 5 介護保険制度等新たな制度に対する意識 6 住宅の状況 7 家族の状況 8 就業・経済の状況 9 社会参加と意識 10 行政への要望等 11 自由意見
18	都民の生活実態と意識	H18.11.11	世帯 6,000世帯 世帯員 9,828人	1 世帯と世帯員の状況 (1) 世帯の状況 世帯の構成、住居の状況 経済の状況 (2) 世帯員の状況 傷病の状況、手帳の所持状況、就業の状況、医療保険の加入状況、介助の状況 2 社会福祉に関する意識 (1) 食育、運動、健診について (2) ストレス、悩みについて (3) 児童・高齢者虐待 (4) 障害者への支援策 (5) 地域社会のあり方 (6) 福祉サービスへの民間参入 (7) 所得のあり方など

調査名は、平成17年度までは東京都社会福祉基礎調査、平成18年度は東京都福祉保健基礎調査